

NanoTerasu のビームラインで **タンパク質結晶立体構造解析**を開始  
 - 全自動測定とスパコンAOBAによる即時データ解析により **ライフサイエンスを加速** -

- NanoTerasuのビームライン、BL09Uでタンパク質の立体構造を原子レベルで決定
- メールイン全自動測定と大規模計算科学計算システムスーパーコンピュータ AOBAによる即時データ解析で高速データ創出を実現。利用者は試料を送付するだけで、創薬の初期段階であるリード最適化期間を大幅に短縮可能。
- 分子から細胞、組織までのマルチスケール観察を可能に。アカデミア創薬を加速する拠点化を推進。

教授 南後 恵理子



准教授 山田 悠介



他

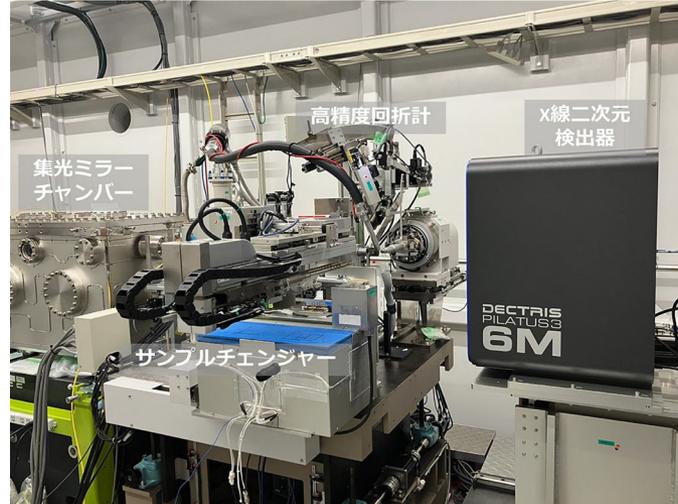


図1. MX-ESの計測システム

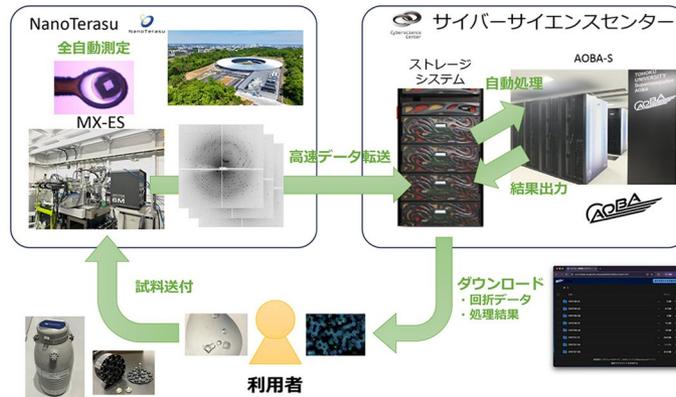


図2. MX-ESとAOBAの連携によるメールイン全自動測定